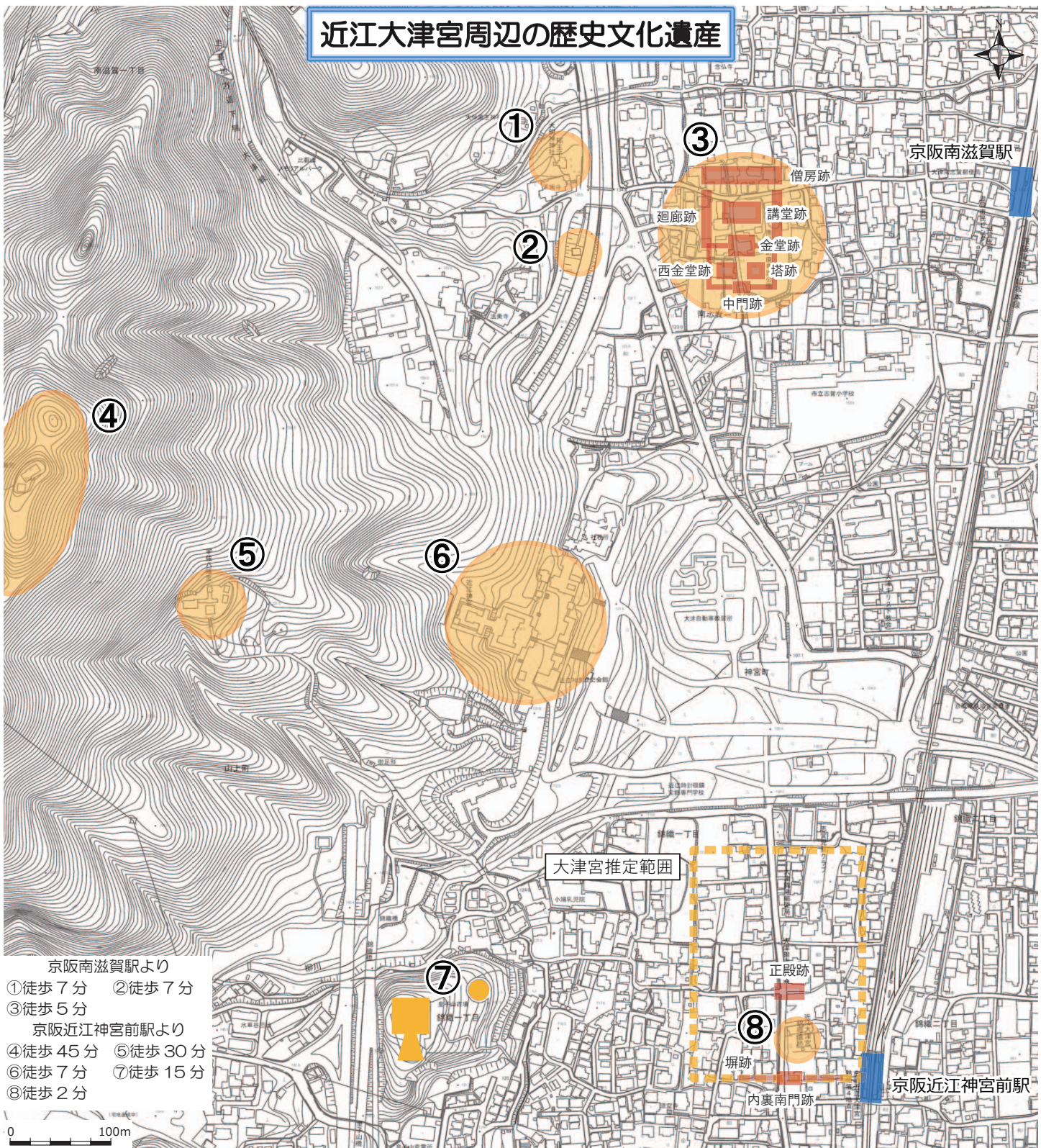


近江大津宮周辺の歴史文化遺産



京阪南滋賀駅より
 ①徒歩7分 ②徒歩7分
 ③徒歩5分
 京阪近江神宮前駅より
 ④徒歩45分 ⑤徒歩30分
 ⑥徒歩7分 ⑦徒歩15分
 ⑧徒歩2分

① 福王子古墳群
 横穴式石室をもつ古墳時代後期の渡来系の特徴を持った群集墳。17基からなり、このうち7基が西大津バイパス建設に伴って発掘調査された。

② 檜木原瓦窯
 南滋賀町廃寺で使用されている瓦を焼いた窯跡。西大津バイパス建設工事にもともなう発掘調査で、全貌が明らかとなった。

③ 南滋賀町廃寺跡 (国史跡)
 塔と小金堂が東西に対置し、これらを取りまいて回廊がめぐる伽藍配置となっている。塔・小金堂・金堂には瓦積基壇が採用されている。

④ 宇佐山城跡
 元龜元年(1570)、織田信長の命により、京都への流通を監視し、延暦寺の押さえとして森可成が築いた城。翌年、明智光秀が城主となった。山上には曲輪跡や石垣が残る。

⑤ 宇佐八幡神社
 別名、おし八幡。治暦元年(1065)、源頼義らが自ら帰依していた行観僧正の協力を得て宇佐神宮(大分県)を勧請。例祭は9月15日。

⑥ 近江神宮
 昭和15年(1940)、天智天皇を祭神として創建。当時の建築技術の粋を凝らした本殿等は国登録文化財。かるたの聖地としても有名。

⑦ 皇子山古墳 (国史跡)
 皇子山の頂上に造られた全長約60m、古墳時代前期の前方後方墳。古墳の東側面は、葺石が丁寧にふかれ、琵琶湖を意識した造りになっている。

⑧ 近江大津宮錦織遺跡 (国史跡)
 天智天皇6年(667)、中大兄皇子(天智天皇)は中臣鎌足(藤原鎌足)の協力を得て、都を飛鳥から近江大津宮に移した。明治28年(1895)建立の志賀宮址碑が建つ。